

■ 社名/業種

大豊産業株式会社 / 卸業 = 本業、新規事業分野 = ロボテックス

■ 対象地域

全国

■ 上記政策分野における貴社の提供サービス・ノウハウ

ロボテックスにより【死亡鶏】の早期発見を実現。疫病の蔓延を防止します！

採卵鶏舎内で自走式の巡回型センサーロボットにより死亡している鶏の早期発見で採卵効率（腐敗卵流出防止）をアップします。また鳥インフルエンザの早期発見にも役立て大量死亡の場合はアラートを自治体に急報し、食の安全にも効果を発揮させることができます。

■ 上記サービス・ノウハウを活用した実績（特に地方公共団体との連携実績）

- ◆ 2018年度 経済産業省『ロボット導入実証事業』千葉県的事業者様への死亡鶏検知システムの導入

■ 連携することが想定される分野（複数分野を選択している場合は、分野間の連携方法）

鳥インフルエンザが伝染することを官民一体となって防ぎます。このためには、弊社の開発したロボットで収集した情報をクラウドに送信。ネットワークを通じて24時間365日監視し情報を自治体、事業者、関係者らと共有します。これらのプレイヤーが一丸となって地域の食の安全を守っていく様、当社がシステム提案とコーディネートしてまいります。

■ 上記サービス・ノウハウにより実現できること（想定される効果、解決することが期待される地域課題等）

**想定効果：**①鳥インフルエンザの早期発見 ②採卵鶏業者における高衛生化（腐敗卵流出防止） ③ 省人化、省力化の実現 ④労働環境の改善と生産性の向上、⑤疫病（鶏インフルエンザ）の蔓延抑止による卵価の安定 ⑥飼育環境の温度・湿度データ

●採卵鶏舎内は多層式飼育の為、くろぶしから頭上まで目視の確認が困難である場合が多くあります。目視で死亡鶏を確認するには、時間もかかり、また薄暗く臭気があり羽埃の舞う作業環境であるため日々必要である巡回点検の障害となっております。その様な中、コロナウィルス感染者が作業員でた場合、この監視が疎かになり、発見が遅れてしまうと、①疫病の蔓延、②腐敗卵の流出（死亡鶏により自動採卵が妨げられ腐敗）につながる可能性が高くなります。弊社のロボットは、自走式ロボットにIoT機器を搭載。可視カメラとサーモカメラによるAI分析で死亡鶏を発見する世界初のシステム（固有特許技術）であり、日本の食生活を支える鶏卵の安定供給に貢献できる有望な機器です。

■ 地域未来構想20の実現を目指す自治体へのメッセージやPR等

上述の様に作業員がコロナ等、労働力の減少は採卵鶏業者の死活問題となっております（直近5年で数百の農家減少）。今回ご案内のシステムは、人に代わりAIロボットが、採卵業者様の一助となることで生産力を向上させる、最先端のシステムです。ぜひこの機会に一步先の採卵業者への階段を上り、より一層の食の安全を担保してみませんか。ご質問などでも構いませんので、ぜひお気軽にお問合せ下さいませ。

プロトタイプの動画はこちらからご覧になれます→  
[http://www.taihos.co.jp/business\\_newinitiatives.html](http://www.taihos.co.jp/business_newinitiatives.html)

